

令和5年 万部法要 奉納行事 日程・時間表

スケジュール

日程 時間	5月1日(月)		5月2日(火)		5月3日(水) 憲法記念日		5月4日(木) みどりの日		5月5日(金) こどもの日	
	瑞祥閣	延喜殿三階	瑞祥閣	延喜殿三階	瑞祥閣	延喜殿三階	瑞祥閣	延喜殿三階	瑞祥閣	延喜殿三階
6時30分	半斎勤行 朝のおつとめ		半斎勤行 朝のおつとめ		半斎勤行 朝のおつとめ		半斎勤行 朝のおつとめ		半斎勤行 朝のおつとめ	
9時30分	おつとめ 阿弥陀経 読誦		おつとめ 阿弥陀経 読誦		おつとめ 阿弥陀経 読誦		おつとめ 阿弥陀経 読誦		おつとめ 阿弥陀経 読誦	
10時										
10時30分										
11時										
11時30分	八島町 六齋念佛鉢講	大和各地の檀信徒に広がる様々な念佛法式を披露してください。	東安堵 大寶寺 六齋念佛講	各種楽器の演奏、そして声明とのコラボ演奏を楽しんで頂きます。	融通声明 コンサート 【融通声明研究会】	心の琴線に触れる融通念佛宗独自の「声明」を堪能していただけます。	融通声明 コンサート 【融通声明研究会】	雅のハーモニー 雅楽演奏 【楽融会】	世界平和祈願 護摩供養 ※本堂北側	世界平和祈願 護摩供養 ※本堂北側
12時	布教 吉村 明山師		布教 磯田 良孝師		布教 沢田 善秀師		布教 村井 實道師		布教 横田 大実師	
13時	魚山流 詠讃歌舞		仏教讃歌		魚山流 詠讃歌舞		仏教讃歌		魚山流 詠讃歌舞	
14時	菩薩による 伝供式 (献華)	万部おねりを徹底 解説 「深掘り! まんぶおねり」	菩薩による 伝供式 (献華)	万部おねりを徹底 解説 「深掘り! まんぶおねり」	菩薩による 伝供式 (献華)	万部おねりを徹底 解説 「深掘り! まんぶおねり」	菩薩による 伝供式 (献華)	万部寄席 露の団姫	菩薩による 伝供式 (献華)	万部おねりを徹底 解説 「深掘り! まんぶおねり」
15時	阿弥陀経 万部読誦	法話 関本和弘師 司会 安達えみさん	阿弥陀経 万部読誦	法話 夏野光峰師 司会 安達えみさん	阿弥陀経 万部読誦	法話 十石慈洋師 司会 新口絢子さん	阿弥陀経 万部読誦	落語会	阿弥陀経 万部読誦	法話 溪村真司師 司会 新口絢子さん
15時30分	万部結縁 回向	極楽絵巻を 垣間見る!?	万部結縁 回向	極楽絵巻を 垣間見る!?	万部結縁 回向	極楽絵巻を 垣間見る!?	万部結縁 回向		万部結縁 回向	極楽絵巻を 垣間見る!?

※各種奉納行事の内容・時間については、変更する場合がございます。

行事紹介

- 布教
 - 詠讃歌舞
 - 仏教讃歌
- 融通念佛宗布教師会による布演（お説教）を毎日行っています。
味わい深い詠讃歌と華麗な舞踊をご披露いただきます。
心洗われる詞と美しい旋律の仏教コーラスをお届けいたします。

本年はお稚児さんの募集はしておりません

今年は延喜殿三階にて開催の予定です。又、ぬりえ会場では菩薩根付などの青年会物品販売も行います。どうぞ皆様、足をお運びいたさる菩薩様とされています。今年は延喜殿三階にて開催の予定です。又、ぬりえ会場では菩薩根付などの青年会物品販売も行います。どうぞ皆様、足をお運びいたさる菩薩様とされています。

日々の青年会活動においても徐々にではありますが、講習会、史跡参拝等、活動を再開であります。夏の台風で大きな被害を受けた静岡市へ傾聴ボランティアに伺わせていただきました。今後も当会が益々盛会となりますように努めてまいりますので皆様どうぞよろしくお願いいたします。

青年会だより ぬりえ展示と菩薩根付販売

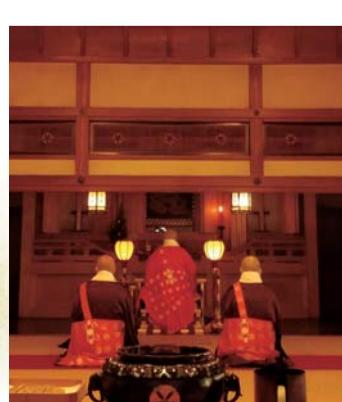


融通念佛宗青年会会长 辻 良和



本堂での法事が終わるとすぐに、管長猊下以下、僧侶は瑞祥閣に移動し、速やかに開眼法要が営まれました。今後、本堂での銅板瓦葺き替え工事が終わるまで、瑞祥閣にて本堂行事が行われることになります。

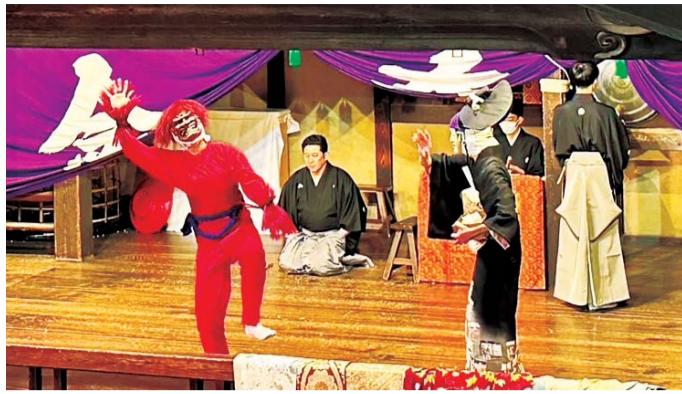
ご本尊をはじめ諸仏、諸尊、祖師方と一尊ごとに御名号を唱え、撥文」「光明文」などが唱えられ、開扉されました。読経は「香偈」よりはじまり、「表白」「真身觀



御本尊遷座法要

去る一月三十一日、気温七度、湿度五十パーセント、真冬の凜とした空気の中、午後三時より、大念佛寺本堂では、御本尊の遷座法要が営まれました。遷座法要とは、本堂に奉安している仏や、祖師を仮の本堂に遷す儀式のことです。この度は本堂大屋根の銅板瓦葺き替え工事にともない、御本尊並びに諸尊、祖師方などが大念佛寺本堂から、仮の本堂である瑞祥閣へ遷されました。吉村暉英管長猊下を先頭に侍者、教学部長、庶務部長、財務部長が入堂され、双盤が鳴りました。吉村暉英管長猊下を先頭に侍者、教学部長、庶務部長、財務部長が入堂され、双盤が鳴りました。吉村暉英管長猊下を

響き、御本尊宮殿、両祖師宮殿がよりはじまり、「表白」「真身觀



大念佛狂言「節分」



壬生寺は、京都市にある律宗の寺院です。平安時代の正暦二年（九二）、快賢僧都によつて創建されました。古来より、厄除開運の寺として庶民の信仰を集めています。幕末に活躍した新選組ゆかりの寺としても知られ、境内の壬生塚には、隊士の墓塔を祀っています。

壬生寺では狂言が広く知られており、その正式名称を「壬生大念佛狂言」といいます。「壬生さんカンデンデン」と呼ばれ、庶民の間で親しまれてきました。鎌倉時代に、律宗の僧侶で融通念佛も行っていた円覚上人という僧侶がはじめたものです。

上人は、正安二年（一二三〇〇）、壬生寺において、「大念佛会」といって、節分会を行なったのです。この節分会では、上人は、正安二年（一二三〇〇）、壬生寺において、「大念佛会」といって、節分会を行なったのです。この節分会では、「節分」という演目だけを繰り返し行われ、始まる前から参拝の方々が楽しみに列に並んでおられました。満堂の客席からぞむ大念佛堂（重要文化財）への距離はとても近く感じられ、おられました。賑やかな山内の屋台のみならず、周辺の和菓子やお寿司のお店、カフェなどにも行列ができ、節分会が街と共にあります。地域の繋がりと歴史の重みを感じます。

屋台の間を抜け、大きな山門をくぐりますと、奥には本堂、さらに左手奥には千体仏塔という壮大な塔が見えます。ご本尊は、律宗の本山の唐招提寺より遷座されたといふ延命地蔵菩薩立像（重要文化財）。本堂は厳かに煌びやかに莊嚴され、お参りの方々は熱心にお手を合わせておられました。

山門から並ぶ屋台の一角に、大きな素焼きのお皿のようなものが、たくさん積み重ねられていました。「炮烙」というもので、厄除開運のご利益があり、参詣者は家族の

し割るそうです。



名前と願いを書き奉納します。
壬生大念佛狂言の演目「炮烙」では、奉納された多数の炮烙を豪快に落とし割るそうです。

壬生天念佛狂言について、二月の節分会では、「節分」という演目だけを繰り返し行われ、始まる前から参拝の方々が楽しみに列に並んでおられました。満堂の客席からぞむ大念佛堂（重要文化財）への距離はとても近く感じられ、臨場感にあふれています。

登場する人物は美しい着物、また特徴的な仮面を身につけていて、古来より伝わる空気感が何とも有難く、また心地よく感じられます。節分ですから、鬼も登場します。「鬼を招く甘い誘惑に負けずマメに（こつこつ）働くことによってこそ福德は得られるものである」とことを伝えるそうです。

融通念佛宗布教師会では、令和五年三月より新たな取り組みとして、総本山大念佛寺と布教師会ホームページの二カ所で「法話の映像配信」を開始致しました。



「融通の心」をお届けしています！

融通念佛宗布教師会

写真家脇坂実希さん撮影の写真です。季節に合わせた「とつておきの一枚」を掲載しておりますので、文章とあわせてお楽しみいただければ幸いです。

これは、皆様がご自宅に居ながらでもご覧いただけるように、布教師会所属の僧侶が毎月一人ずつ、色々な視点から、融通念佛の心をわかりやすくお話ししています。

またこれとは別に、融通念佛宗布教師会のホームページ上では、布教師会所属の僧侶がリレー形式で綴る「融通歳時記」を昨年七月より配信しております。

内容は、お盆やお正月、お彼岸などの年中行事はもちろん、融通念佛宗独自の行事や四季折々の話題を、特設コーナーを設けて毎月二回お届けしています。

また、毎回この歳時記を味わい

在家伝法で多くのお寺にて禮頭師（お経の牽引役）として勤められました。

任命されるには、住職在任期間二十年以上などの条件を満たした僧侶の中から選ばれます。紫金

職は本宗僧侶にとって榮誉ある役職です。任期は二月一日から一年間で、大念佛寺の三祖忌法要、万部法要など管長猊下の前座導師を勤められます。

佐々木瑞恭師は、昭和十六年に戦中の大阪大国町で出生、昭和二十九年に入衆、十六

歳から本山の職員として奉職され長い間、維那の僧中として本山の本堂内にお経を響かせてこられました。

又、各末寺で執り行われている、



紫金職任命

佐々木 瑞恭 師

令和五年度紫金職は第十教区の

佐々木瑞恭師（奈良県天理市岩屋町本願寺住職・奈良県宇陀市下笠間春覺寺兼務住職）が就任されました。

その多くの経験を本宗の僧侶に伝えてこられ、僧侶育成にも力を注がれています。

これからも多くの若い僧侶や檀信徒の皆様にお経の「有難さ」を伝えていきたいと熱く語ってくださいました。

紫金職任命の一年間、如法貞実、安穏無事を心掛けて重責を担いたいと述べられました。

春の大念佛会、秋の特別公開、節分の公開と、年に三回、壬生大念佛狂言を上演しておられます。

壬生大念佛狂言の演目「炮烙」では、奉納された多数の炮烙を豪快に落とし割るそうです。

大念佛寺 インスタグラム 始めました



このQRコードで
アクセスできます。

DAINENBUTSUJI.1117



フォローしてね

話せば心も軽くなる 大阪仏教テレホン相談室
仏事相談、信仰相談、その他あらゆる人生相談を十宗派の僧侶が
お受けします。月曜日・金曜日（八月休）
でんわ ○六（六二四五）五一〇 午後二時～五時迄

たずむ本堂があります。当寺の開基は享保九年（一七二四）と伝えられています。本尊は春日伝師の作と伝える子安地蔵尊で、古くから安産厄除の寺として知られています。



木造地蔵菩薩立像



また大阪狭山市指定文化財の木造薬師如来立像も祀られています。以前国の重要文化財に指定されている「絹本着色釈迦如来及四菩薩像」も祀っていました。（現在は大阪狭山市郷土資料館）

風輪寺は旧河内国と旧和泉国

エリアにある、「十四ヶ所の地蔵

霊場「河泉二十四地蔵靈場」の第

九番札所にも位置付けられていま

す。

また戦国時代に建てられた三間二層の多宝塔（国重要文化財）の中には桧材寄木造、像高八八、七センチメートル、金剛界像で智拳印を

結び、平安時代末期の作といわれている本尊・金剛界大日如来坐像

明王と役行者が祀られています。

また、同じ塔内にあった愛染明

王坐像（市指定文化財）は鎌倉時

代の作です。

現在はどちらの像も、堺市博物館に寄託されています。

木造地蔵菩薩立像

巨杉に囲まれてたたずむ岩湧寺。当寺は大宝年間（七〇一～七〇四）に修驗道の開祖役小角が開基したと伝えられています。名称の「岩湧」は、高い岩場が湧くが如く屹立する風景からきたと伝えられ、和泉山脈・金剛山地を行場とする葛城修驗の靈場として知られています。もともとは天台宗寺院であったが、明治期に融通念佛宗に改宗しました。伽藍は本堂と多宝塔のみの狭い境内です。

江戸初期の建立とされている本堂（市指定文化財）の中には本尊十

一面千手觀世音菩薩、脇侍に不動

明王と役行者が祀られています。

また、同じ塔内にあった愛染明

王坐像（市指定文化財）は鎌倉時

代の作です。



小徑

ロウソクの影

毎月朝九時頃にお参りに寄せていただくあるお家での一コマ。晴天の日は、部屋が明るくなるようにと障子も全間にされます。

春の頃でしたので東からの朝日が直接お仏壇の隅々まで届き、さりげなく輝いた御本尊を前にして清々しい気持ちでお勤めをさせていただきました。

読經の後、にじりながら後ろに向こうとした瞬間、斜め方向の襖から目に入ってきたのが下に描いた「ロウソクの影」でした。

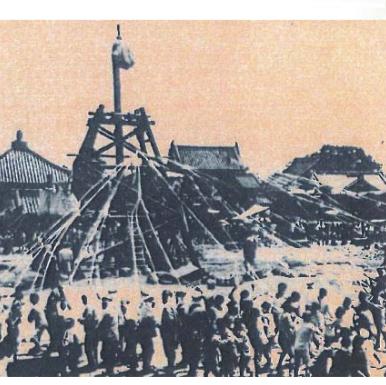
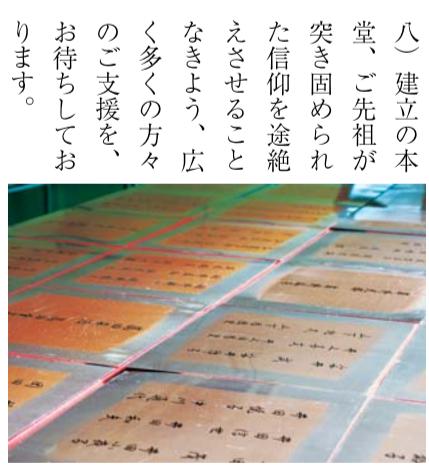


銅板瓦御寄進について

令和の本堂大改修にあたり、皆様の温かいお心をお寄せいただけましたら、「瓦効進」（銅板瓦の御寄進）のお願いを申し上げます。

お寄せいただいた淨財は、本堂大屋根に用いる銅板瓦に充当し、順次ご寄進者のお名前を銅板に記入して奉納いたします。

（昭和十三年（一九三八）建立の本堂、ご先祖が突き固められた信仰を途絶えさせることなきよう、広く多くの方々のご支援を、お待ちしております。



インターネットからも受け付けています
クレジット、銀行振込も対応

万部法要での回向、勧進

●別回向「樂邦殿」回向料五千円
「家内安全」「病氣平癒」「身體堅固」「心願成就」など具体的な祈願もお申しつけ下さい。
●急車両進入通路新設が完成し、このたび令和五年一月二十七日の業者（金剛組）よりの引き渡しをもって完了となりました。

●当座回向「瑞祥閣前テント」
受付された当日のみ瑞祥閣（仮本堂）にて各僧侶により一斎回向

●万部常回向「瑞祥閣前テント」
受付された当日のみ瑞祥閣（仮本堂）にて各僧侶により一斎回向

●ロウソク勧進
受付された当日のみ瑞祥閣（仮本堂）にて各僧侶により一斎回向

●別回向「樂邦殿」回向料五千円
「家内安全」「病氣平癒」「身體堅固」「心願成就」など具体的な祈願もお申しつけ下さい。
●急車両進入通路新設が完成し、このたび令和五年一月二十七日の業者（金剛組）よりの引き渡しをもって完了となりました。

●ロウソク勧進
受付された当日のみ瑞祥閣（仮本堂）にて各僧侶により一斎回向

●別回向「樂邦殿」回向料五千円
「家内安全」「病氣平癒」「身體堅固」「心願成就」など具体的な祈願もお申しつけ下さい。
●急車両進入通路新設が完成し、このたび令和五年一月二十七日の業者（金剛組）よりの引き渡しをもって完了となりました。

●別回向「樂邦殿」回向料五千円
「家内安全」「病氣平癒」「身體堅固」「心願成就」など具体的な祈願もお申しつけ下さい。
●急車両進入通路新設が完成し、このたび令和五年一月二十七日の業者（金剛組）よりの引き渡しをもって完了となりました。